

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	じらふ住之江		
○保護者評価実施期間	2025年2月1日 ～ 2025年2月28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27 (回答者数)	13
○従業者評価実施期間	2025年2月1日 ～ 2025年2月28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	部屋数が複数あり十分な広さ	- 身体を使った遊びを多く取り入れている - 机などにコーナーガードを取り付けるなど安全対策をしている	- フロアの使い方 - 物理的構造化
2	視覚的な支援	- スケジュール - P E C S - 視覚的構造化(手順書、写真などでの指示など)	- スケジュールの個別化 - P E C Sのレッスン計画の作成 - 視覚的構造化の充実
3	家族支援 ご家族との丁寧なやり取り ママレモンズ・おやじの会 すみすみ連絡会(住吉区住之江区放課後等デイサービス 連絡会) すみすみ研修	- 様々なツールを活用した情報共有や相談受付(日々の連絡帳、電話、公式LINE等) - 定期的な保護者会の開催 - 他事業所と情報交換、家族支援へ連携 - 保護者とともに学ぶ機会 - 研修会等を通じて交流会・懇親会の開催	LINE公式のさらなる活用 - 研修動画・支援のヒントなどの共有、情報提供 - すみすみ研修の案内、研修の内容の周知

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動のバリエーションが少ない	住之江を利用している子どもたちの年齢層に合わせた内容となっていない	- 企画の年間計画を住之江の子どもたちに合わせてアレンジしていく - 近くの資源を活用していく(公園あそび、散歩など)
2	当日の子ども様子をスタッフ間で共有しにくい	直行直帰のスタッフと情報共有する場を設定できていない	- 打合せの内容を工夫し充実させていく - ケース記録の書き方や記録するタイミングのOJT - 様々なツールの活用(メモ・LINE公式など)
3	地域連携 地域との交流の機会	事業所として地域に向けての発信が少ない。 地域の子どものニーズと事業所の利用者のニーズの両者に見合った取り組みやイベントの創出の困難さ。	ごはんくらぶ、きずなバザーなど、法人内で実施しているイベントに参加する きずなバザーにじらふとして出店する。もしくはバザーの売り子になる。